

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				なみはやグラウンド管理運営事業				②事業番号		7633									
③事業類型		4. 施設等維持管理事業				④開始年度		平成 10 年度		⑤終了予定年度		年度		○ 設定なし					
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		計画等		○ その他		法令等の名称		なみはやグラウンド管理運営基準			
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他									
⑧関連予算科目コード				款		9		項		6		目		3		細目		3	
⑨担当部名				⑩担当課名								会計				一般会計			
教育部				生涯学習課															

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① なみはやグラウンド	① 施設数	施設
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
当グラウンドは大阪府の下水道施設内にある施設であるが、地域還元という趣旨で、スポーツ施設として、利用者に利用してもらい、有効活用している。	① なみはやグラウンド委託件数	件
	② なみはやグラウンド利用可能日	日
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
グラウンドを適切に管理することによって、良好な状態を保つことで、利用者に開放し、施設利用者のスポーツの場を提供している。	① 施設利用者数	人
	② 修繕箇所数	箇所
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
既存の施設の機能を最大限に活用し、施設の充実を図る。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	施設数	施設	1	1	1	1	1	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	なみはやグラウンド委託件数	件	3	3	3	3	3	
活動指標②	なみはやグラウンド利用可能日	日	138	131	143	141	140	—
活動指標③								
成果指標①	施設利用者数	人	25,348	21,873	26,190	26,000	26,000	
成果指標②	修繕箇所数	箇所	2	2	5	2	0	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.13	0.13	0.24	0.27		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.03	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	1,044	1,044	2,044	2,189		—
	直接事業費	千円	8,323	8,432	9,715	11,682		
	総事業費	千円	9,367	9,476	11,759	13,871		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	8,258	8,737	10,123	10,332		
	一般財源	千円	1,109	739	1,636	3,539		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	当グラウンドは大阪府の下水道施設内にある施設であるが、地域還元という趣旨で、スポーツ施設として、利用者に利用してもらおうとするものである。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在まで引き続き、泉南市のスポーツ施設としての役割を果たし、利用者の体力の増進・健康維持向上に貢献する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	参加している人々のスポーツを通しての体力の増進・健康維持向上に貢献している。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	府の下水道施設内の有効利用という形で府から委託を受けて運営している。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	良好な条件のグラウンドを無料で開放しているので、利用者には好評である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	このグラウンド利用者には影響があるように思われる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	利用希望者が多く、成果は得られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	良好な条件のグラウンドを無料で開放しているので、これ以上余地はない。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	地元への貢献ということで本施設が設置されたが一定の期間が経過しており、利用団体によっては一定の受益者負担も検討していかなければならない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	府からの委託事業のため、市独自では改善は難しい。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	↓ (年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—